

執筆 者 紹 介

鳥谷知子（からすだに ともこ）教授

▽『上代文学の伝承と表現』（おうふう）

久下裕利（くげ ひろとし）教授

▽『平安後期物語の研究』（新典社）▽『変容する物語』（新典社）▽『狭衣物語の人物と方法』（新典社）▽『源氏物語絵巻を読む―物語絵の視界』（笠間書院）▽『物語の廻廊―源氏物語』からの挑発』（新典社）▽『王朝物語文学の研究』（武蔵野書院）▽『物語絵・歌仙絵を読む』（武蔵野書院）

齋藤 彰（さいとう あきら）教授

▽『徒然草の研究』（風間書房）▽『諷増抄』（新典社）▽『新編国歌大観』三・七・十巻（共著 角川書店）▽『大歳時記』（共著 集英社）▽『日本古典への誘い 100 選Ⅱ』（共著 東京書籍）

東 晴美（ひがし はるみ）非常勤講師

▽『伝統演劇からみる近代―逍遙の近松研究―』（総研大文化科学研究）2号）▽『劇評ジャンルの文化史―近代への転換』（『日本研究』第40集 国際日本文化研究センター）▽『二代目市川左団次の訪欧と「鳴神」―一九〇七年のヨーロッパ演劇と一九一〇年の日本文壇の関わりから』（『日本

研究』第44集 国際日本文化研究センター）

笛木美佳（ふえき みか）准教授

▽『再考 白百合女子大学図書館蔵 遠藤周作書簡―三田文学』（第88巻99号、平成21年11月）掲載、松井千恵氏宛六通について―（『遠藤周作研究』8号）▽『過去から現代への箴言―遠藤周作「わたしが・棄てた・女」の今日性―』（『学苑』851号）▽『遠藤周作「深い河」論―「玉ねぎ」に秘められたもの』（『遠藤周作研究』3号）▽『「深い河」後の遠藤文学―『女』を中心に』（『キリスト教文学研究』27号）▽『キャラクターの円環―森田ミツをめぐる』（柘植光彦編『遠藤周作 挑発する作家』所収 至文堂）

嶺田明美（みねだ あけみ）准教授

▽『形容詞「高い」の使用実態について―「強い」「大きい」などとのゆれの可能性の指摘―』（『学苑』893号）▽『近代小説等における「〜ではありませんか」類と「〜ではないですか」類の使用頻度について』（『学苑』855号）▽『第4章 日本語学関連サイトの紹介』（講座 ITと日本語研究7 ウェブによる情報収集 明治書院）▽『第6編第4節 方言』（『作手村誌 本文編』愛知県新城市・作手村誌編集委員会）▽『「視線」「視点」と「目線」』（『学苑』809号）

元吉 進（もとよし すずむ）教授

▽『源氏物語作中人物事典』（共編 東京堂出版）▽『源氏物語の鑑賞と基礎知識 14（若菜上 後半）』（共編 至文堂）▽『源氏物語の鑑賞と基礎知識 33（薄雲・朝顔）』（共編 至文堂）▽『更級日記の橋の記述をめぐる―断橋の風景―』（『学苑』807号）▽『更級日記の「ちちぶの山」について―父と娘の東国―』（『学苑』891号）▽『更級日記と上総国笠森観音』（『学苑』903号）